

令和4年第6回（11月）瀬戸内市議会定例会

教育委員会行政報告

市長の行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

岡山県では、学校、家庭、地域が一体となり「地域の子どもは地域が育てる」という機運を盛り上げるため、毎年11月1日から7日までを「おかやま教育週間」としています。

本市では、おかやま教育週間にあわせて、10月1日から11月30日までの期間に、授業参観に加え、文化祭や学習発表会などの学校公開を行っています。コロナ禍が続く中、各学校園は感染拡大防止を徹底し、学校と家庭が一体となって、子どもたちを育てる大切な機会を設けています。

また、キャリア教育実践の場として、中学生が、地域へ出て職場体験をする活動も行っています。職場体験活動を通して、地域の方とも一体となって、子どもたちの学びをより豊かなものにできています。

それでは、主な取り組みについて報告させていただきます。

○不登校の児童生徒への対応について

本年10月、文部科学省と岡山県教育委員会は、令和3年度の小中学校における不登校の状況を公表しました。この中で文部科学省は「小中学校ともに不登校児童生徒数が増加している。新型コロナウイルス感染症が、子どもたちの行動等に大きな影響を与え、不安や悩みが従来とは異なる形で現れている可能性がある。」等の認識を示しています。

本市では、自立支援室での活動や、教員による家庭訪問や校内ケース会

による対応の検討、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、適応指導教室との連携を進めています。子どもたちの心の不安や悩みを払拭するため、体験を通して自己決定する場面を増やすことや、子どもたちに関わる人を少しずつ増やすことにより、子どもたちが、将来の夢や希望を語るができるよう支援しています。引き続き、将来の瀬戸内市を担う子どもたちの社会的な自立を支える体制づくりや教育支援センターの整備を検討していきます。

○スポーツ推進事業について

6月に地域おこし協力隊を2名採用し、スポーツを通じたまちづくりに取り組んでいます。国府小学校では、体育授業の補助。美和小学校においては、陸上記録会に向けたウォーミングアップ運動、ソフトボール投げ、ハードル走の技術指導。また、今後、市で広めようとしているニュースポーツであるフレスコボールに関する研修会、視察、体験会の実施や、依頼を受けてのスポーツに関する講演や外遊びの体験会等を行っています。

○公民館活動について

県下でも広く知られている第36回備前長船菊花展が、10月16日から11月16日まで長船町公民館で開催されました。会場では、菊づくり講座の受講者や市内外の愛好家延べ174人による約750鉢が展示され、端正に育てられた美しい花が咲き誇り、会場に訪れた方々に心の豊かさや感動を与えました。

3年ぶりとなる文化祭が、牛窓町公民館を皮切りに中央公民館及び長船町公民館で開催されました。公民館で日頃活動されている方々の学習成果がステージ発表や展示を通して披露されました。邑久会場では、岡山市出身の滋賀県立琵琶湖博物館の橋本道範はしもとみちのりさんによる「巨大な荘園と郷ごうの人び

と「王家領 豊原庄をめぐって」と題した講演やミュージカル女優の清水ゆきさん、特別ゲストに後藤勝徳^{ごとうかつのり}さんを迎え、懐かしのミュージカル曲を岡山で活躍するメンバーと共にお届けしました。

第33回喜之助人形劇フェスタが、11月19日と20日に、市の人形劇公演委託業務を喜之助人形劇フェスタ市民実行委員会が受託する形で開催されました。全国で活躍するプロの人形劇団による各4公演が上演され、人形劇の面白さや楽しさを堪能しました。

○図書館について

市民図書館は、平成28年6月の開館以来、多くの市民の皆さんにご利用いただき、本年11月、累計入館者数が100万人に達しました。これからも、多くの市民に利用され、地域の情報拠点として役割を果たしていけるよう、図書館サービスの充実を図っていきます。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

令和4年11月28日

瀬戸内市教育委員会

教育長 東南 信行